

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8347
担当部課名	保健所	生活衛生	課	環境衛生
事務事業名	犬・猫不妊去勢手術助成事業		事業コード	12120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地域保健対策の充実	12
施策名	第2施策	快適で安全な生活環境の確保	年度

2 実施根拠及び関連法令等

動物の愛護及び管理に関する法律、県動物の愛護及び管理に関する条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
野犬・野良猫の増加を防止するため、市民が飼養する犬・猫に行う不妊去勢手術に対し、その経費の一部を助成することにより、捨て子猫等の減少にもつながる。また適正飼養の徹底が図られる。		犬・猫を飼養している市民	
		対象数	不特定
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
申請件数 2,425件 犬メス 303件 猫メス 1,239件 犬オス 205件 猫オス 721件 請求件数 2,024件 犬メス 269件 猫メス 978件 犬オス 175件 猫オス 602件 広報さがみはらへ助成制度の案内を年2回(4月、9月)掲載 助成金額 犬メス5,000円 犬オス3,000円 猫メス4,000円 猫オス2,800円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	手術実施率		
指標式	請求件数 / 申請件数 × 100		
指標設定の意図	補助金交付決定者の手術実施率により事業の成果を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		87	a 83	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	8,095	7,467	9,000	8,080
	人員・時間数	2人	2人	2人	2人
	人件費	8,857	8,857	8,857	8,857
	その他経費				
	合計	0	16,952	17,857	16,937
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 83.4%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{83.4}{100.0} \times 100 = 83.4\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	交付決定後30日以内に手術を受けることを条件とし、期間経過後の手術に対しては助成を行っていないため、交付決定を受けていても手術の時期を逸してしまうケースがある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	動物愛護の観点から捕らえて、捨て子猫等の数を増やさないためにも必要な事業である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	期限内の手術を条件にしているが、交付決定者の約2割が実施できていない
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	補助金として交付しているので、市が実施していくことが適当である
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	一部市民から補助金額の増額の希望がある
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	本事業を広く市民に周知することにより、捨て子猫等の減少にもつながり、また動物愛護の精神の啓蒙にも有効である
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 市民動物アンケートの結果、この制度を知らない市民が約6割に達しているため、広報さがみはらへの掲載回数を増やすなどして、広く市民に周知する</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 補助金額を下げるのが、一番のコスト改善になるが、市民の満足度から見ても困難である。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県下各市町村でほぼ同額で助成をしている。
	<p>今後の進め方</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>		
		説明	本事業を続けていくことが、野犬、野良猫の増加を防止し、捨て子猫等の減少にもつながる。

8 二次評価における変更点